

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 実施日 2021年10月18日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OF94 3	Asp f 1 (アスペルギルス由来) 5A100-2523-023-023	血清 0.3	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵	2~4	110 ※6	FEIA	クラス0 0.35未満 (U _A /mL)	判定基準 裏面参照

※6：免疫学的検査判断料



● Asp f 1（アスペルギルス由来）

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症（ABPA）の診断補助に有用な検査です。

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症（ABPA）は、重症喘息の中に潜在している例も多く、再発を繰り返すと線維化から呼吸不全に至ることもあり、早期の診断と治療が大切な疾患です。

成人気管支喘息患者のうち10%前後にアスペルギルス感作があるとされており、アスペルギルス感作喘息の10%～20%（成人気管支喘息の1%～2%）がABPAとされており、早期に疑い、積極的にABPAスクリーニングのためのCT検査等を進めていく必要があります。

本項目は、アスペルギルスから抽出されるアレルゲンコンポーネントの1つの特異的IgE検査で、ABPAの発症原因となるアスペルギルス・フミガーツスの主要アレルゲンを検出するため、ABPAの診断補助に有用です。

▼疾患との関連

アレルギー性気管支肺アスペルギルス症（ABPA）

▼関連する主な検査項目

特異的IgE アスペルギルス

▼検査要項

検査項目名	Asp f 1（アスペルギルス由来）
項目コード	OF94 3
検体量	血清 0.3 mL
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	2～4 日
検査方法	FEIA
基準値	クラス0 0.35未満 (U _A /mL)
報告範囲 (単位)	Asp f 1（アスペルギルス由来） : 0～6 (クラス) 特異的IgE抗体価 : 0.10未満、0.10～99.9、100以上 (U _A /mL)
桁数	Asp f 1（アスペルギルス由来） : 有効1桁、整数1桁、小数0桁 特異的IgE抗体価 : 有効3桁、整数3桁、小数2桁
検査実施料	1アレルゲン 110点 (「DO15」血漿蛋白免疫学的検査「13」)
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)
備考	判定基準は下記をご参照ください。

● 特異的IgE（シングルアレルゲン）FEIA法（判定基準）

クラス	特異的IgE抗体価 (U _A /mL)	判定
0	0.35 未満	陰性
1	0.35～0.70 未満	疑陽性
2	0.70～3.50 未満	陽性
3	3.50～17.5 未満	
4	17.5～50.0 未満	
5	50.0～100 未満	
6	100 以上	

●参考文献

奥田 勲, 他: 医学検査46 (10) : 1525～1530, 1997. (検査方法参考文献)

Yama Fukutomi, et al: Allergol int. 65 (1) : 30～36, 2016. (臨床的意義参考文献)